

赤潮被害に関する意見交換会について

本年 5 月に八代海で警報基準値を超えるシャットネラ属を確認して以来、赤潮により上天草市や天草市でカンパチ・シマアジ・ブリ・トラフグなど養殖魚の斃死が 7 月 18 日時点で 48 万 7,130 尾確認されたため、7 月 6 日の木村知事による現地視察に続き、水産庁による現地視察及び意見交換会が県海水養殖漁協栖本事業所にておこなわれました。

意見交換会では、藤森漁連会長より 4 年連続で赤潮の被害を受けた養殖業者の厳しい状況を訴え、一日でも早く漁業者が安心して養殖業ができるよう出席された水産庁及び国の関係者へ県、市町村と連携して被害に対し抜本的な対策を早急に進めて頂きたいと強く要望されました。



